

KPEC news

Kitakyushu Prosperity Enrichment Council

Vol.66
2021.7.1



Contents

- 01 北九州活性化協議会(KPEC)の概要
- 02 KPEC理事長ご挨拶
- 03~04 北九州地域産業人材育成フォーラム事業
- 05~06 1000人の夢寄金事業
- 07 北九州の企業人による小学校応援団事業
- 08 もったいない総研事業
- 09 トピックス
- 10 お知らせ

表紙写真:楓杉峠橋(八幡東区大字前田)

この橋は、KPEC news Vol.65号で紹介した「龍の尾橋」が架かっている皿倉山を水源とする平野川の更に上流、ほぼ源流に近い岩壁に設置された皿倉登山道路のアーチ橋です。「龍の尾橋」と同様に主体部は製鐵所製造の鉱滓煉瓦ですが、表面は丸みのある自然石を化粧貼りしています。この橋の竣工年は不明ですが、道路は昭和12年に完成しています。この橋も河内貯水池の中河内橋等を設計・施工した技術者集団が深く関与しているものと考えられます。



たつ お
<龍の尾橋>

KPECとは 公益財団法人 北九州活性化協議会(KPEC)の概要

公益財団法人北九州活性化協議会(KPEC)は、平成元年に設立された、北九州の活性化のために市民・団体・行政の力が結集して生まれた民間組織です。
[KPEC:Kitakyushu Prosperity Enrichment Council]

理 念

北九州市の真の活性化実現を目指し、「市民の声」、「若い世代の力」、「大学」、「企業」、「経済団体」の英知と活動力を一つにまとめる連携軸としての役割を担い、行政および関係団体と緊密な連携を図りながら北九州市の確かな未来づくりに向かって行動する団体です。

役割と機能

産学官民の連携軸として、さまざまの人・組織が主体的に参加する北九州活性化の“新しいしづみ創り”を民間主導で実施します。



事 業

北九州市の「都市力」「都市格」向上を目指して、4つの事業に取り組んでいます。

北九州地域産業人材育成フォーラム

产学研連携により、産業人材を育成する事業

1000人の夢寄金

北九州の都市格(教育力・文化力)を向上する事業

北九州の企業人による小学校応援団

北九州の企業人が明日を担う子どもたちを支援する事業

もったいない総研

環境を未来に引継ぐ事業

※北九州イノベーションギャラリー(KIGS)指定管理事業は令和3年3月で終了しました。

ご挨拶

公益財団法人北九州活性化協議会（KPEC）理事長の野畠でございます。

平素よりKPECの活動に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行する中、医療関係者をはじめ、日々、感染対応・対策にご尽力されている皆様に、心から敬意を表するとともに、深く謝意を申し上げます。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、2度の緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出・移動の自粛、テレワークの推進、イベントの制限など、対面での経済活動や日常生活が大きく制限され、生活様式が大きく変化した1年でした。

KPECの事業につきましても、対面でのセミナー・研修の中止や小学校応援団の出前授業の中止や延期、また、1000人の夢寄金の助成先におきましても、事業の縮小や中止を余儀なくされた一方、ITを活用したリモートでの説明会、リモート出前授業など、これまでにない新しい試みも開始しました。

これも新しい働き方への転換の機会を与えてもらったと前向きにとらえ、コロナ終息後には、従来の対面式に加えて、ITを活用した新たな発想で取り組み、更に効率的な働き方へと進化させていく必要を感じております。

さて、平成2年の「産業科学博物館基本構想」の策定から設立に携わり、平成19年から指定管理を受託し運営してまいりました「北九州イノベーションギャラリー（KIGS）」が令和3年3月で休館いたしました。長期にわたりKIGSをご支援いただきました皆様に、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。なお、令和4年春に新科学館の別館として開館する予定です。

令和3年度は、産業人材を育成する「北九州地域産業人材育成フォーラム」、北九州の都市格（教育・文化力）を向上する「1000人の夢寄金」、環境を未来へ繋ぐ「もったいない総研」、明日を担う子供たちを支援する「北九州の企業人による小学校応援団」の4つの事業を柱に活動に取組んでまいります。

令和3年度も新型コロナウイルスの終息が見通せない状況ではありますが、コロナ感染対策に十分に配慮しながら活動に取組んでまいります。

最後に、会員、関係団体の皆様には、本年も変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げるとともに、新型コロナウイルスの早期終息を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

公益財団法人 北九州活性化協議会
理事長 野畠 昭彦

北九州地域の産学官連携により、産業人材を育成する！

北九州地域産業人材育成フォーラム

『北九州地域産業人材育成フォーラム』は“**北九州地域の産・学・官連携により、産業人材を育成する**”ことを目的に、行政、地域大学、地域企業と連携・協働し、各種事業を実施しています。

- ① 高度人材育成プログラム
研修型(短期)／実践型(長期) インターンシップ
- ② 社会人育成プログラム
地域の大学院を活用した各種プログラム
- ③ 青少年育成プログラム
産学連携による早期工業教育の環境づくり

① 高度人材育成プログラム

北九州市内の大学・高専と連携してインターンシップを実施しています。

《インターンシップの目的》

- ◇大学から職場・社会へ円滑に移行するための社会人基礎力の修得
- ◇地元中堅・中小企業の認知向上による就職機会の創出

研修型(短期)インターンシップ

“社会人基礎力の修得と地元企業を知ること”を目的とした研修型の短期インターンシップです。

令和2年度実績

- ◇参加学校：4校(登録校:6校)
- ◇実施企業数：21社(登録企業数:62社)
- ◇参加学生：36名
- ※令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、参加学校、企業、学生ともに減少しました。

課題解決型(低学年)インターンシップ

課題解決を視点に、企業、社会、地域などが抱える課題を企業、学生が考えながら、その解決方法を探求する“学生にリサーチ力をつけさせること”を目的とした課題解決型インターンシップです。

令和2年度実績

- ◇対象大学：北九州市立大学国際環境工学部(1年生)
(未来地域産業インターンシップ)
- ◇実施企業：7社
- ◇参加学生：延べ22名



中堅・中小企業の人材育成による地域力の強化・次世代のものづくり人材の育成



高度人材育成プログラム
●地域連携型インターンシップ事業
●学生のための北九州地域企業研究・交流
●地域連携インターンシップビジネスモデルの構築

青少年育成プログラム
●北九州地域における科学・工学教育情報提供
●「北九州の企業人による小学校応援団」との連携

社会人育成プログラム
●北九州ドクターチャレンジ事業
●北九州テクニカルカレッジ事業

中堅・
中小企業

人材の強化
ブランディング推進

雇用機会の創出
企業と大学の連携・交流の促進

実践型(長期)インターンシップ

実習先の企業でテーマを決め、学生と社員が協働して課題解決に取り組むインターンシップです。

令和2年度実績

- ◇参加学校：2校(九州工業大学・北九州市立大学)
- ◇実施企業：4社(登録企業数:8社)
- ◇参加学生：6名

インターンシップの進化



従来の学部3年生、修士1年生中心のインターンシップから“低学年からのキャリア教育”を目的とした課題解決型(低学年)インターンシップへと拡大していきます。企業の皆様にとっても、長期的な視点から、交流による人材の確保と学生との議論による最新の考え方など、刺激になる良い機会になるとを考えます。

② 社会人育成プログラム

MBAサテライトフォーラム

北九州市立大学大学院マネジメント研究科(K2BS)と協業で“北九州地域の中堅・中小企業の経営者・経営管理人材の育成”を目的とした、中堅・中小企業向けの公開経営学講座「MBAサテライトフォーラム」を企画・開発しています。K2BS教授陣による講義とグループ演習で実践的なマネジメントスキルの習得を目指します。



中小企業の実践経営学講座・車座塾

北九州市立大学大学院マネジメント研究科(K2BS)と協業で“北九州地域の中堅・中小企業の課題解決・経営革新および若手経営者(リーダー)育成”を目的とした、ケースメソッド(実際の企業事例)による「実践経営学講座・車座塾」を企画・開催しています。



③ 青少年育成プログラム

北九州かがくの玉手箱“かがたま”

理工系イベント紹介ウェブサイト「北九州かがくの玉手箱(愛称：“かがたま”)」で、小中学校等教育機関をはじめ、地域や市民へ理工系イベントの紹介を行っています。



« かがたまホームページ <https://kagatama.org/> »

北九州かがくの玉手箱

女子高校生向け理工系職業インターンシップ

“女性の理工系分野への進出”、“女子高校生の地元就職・定着”と“地元モノづくり企業等の人材確保の促進”を目的とした「女子高校生を対象としたインターンシップ」を令和3年度から実施します。

女子高校生のモノづくりへの興味関心を高め、今後の進路の選択肢としての確立を目指します。

インターンシップ動画公開中! <https://kpec.or.jp/jinrai/movie/>

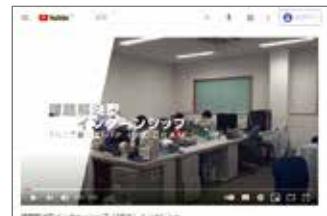
受入先企業 社長の声



大学1年生 体験談



大学3年生 体験談



北九州の都市格(教育・文化力)を向上する!

1000人の夢寄金

『1000人の夢寄金』は

“市民の市民による市民のための民間寄金”です。北州市の都市格(教育力・文化力)を高めることを目的に、市民のみなさまからご寄付を賜り、ジャンルを問わず市民の教育・文化活動への支援を行っています。この事業は今年度で9年目を迎え、累計5,742万円のご寄付をいただき、64件の助成先に1,459万円の助成を行いました。

寄付募集事業

『1000人の夢寄金』では、市民のみなさまから幅広くご寄付を募集しています。

令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大変厳しい経済環境の中にもかかわらず、多数の皆様から温かいご寄付をいただきました。

令和2年度 寄付金合計:4,267万8千円

[(A) 基本寄付金 + (B) プロジェクト寄付金 + (C) 特定寄付金]

基本寄付募集事業

令和2年度の基本寄付募集事業は、個人・団体一口3千円、法人一口1万円を基本として寄付募集を行い、144の個人・団体・法人の皆様からご寄付をいただきました。

(A) 基本寄付金合計:113万7千円

プロジェクト寄付募集事業

令和2年度は、チャリティ・ゴルフコンペの開催と小倉織の端切れ生地を使った「ぬいぐるみ」の売上による寄付金をいただきました。

例年、実施しているチャリティ・バザーについては、新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となりました。

(B) プロジェクト寄付金合計:31万7千円

「1000人の夢寄金」チャリティーゴルフコンペ



第7回「1000人の夢寄金チャリティーゴルフコンペ」を令和2年11月4日(水)に若松ゴルフ倶楽部にて開催しました。

澄みきった快晴の青空のもと、54名の皆様にご参加いただき、総額16万2千円の寄付金をいただきました。令和3年度も11月に開催予定です。

市民の市民による市民のための寄金を設立。

課題解決

北州市の都市格(教育・文化力)を高め、住みたくなるまちにする。

寄付事業

一般寄付募集

- 一般:1口3,000円／年
- 法人:1口1万円／年

プロジェクト寄付募集

- チャリティーゴルフ
- チャリティバザー等

特定寄付募集

- “えこっパー”寄付
- 遺贈寄付等

助成事業募集

都市格(教育・文化力)を高める事業を募集!

- 芸術祭の開催
- 市民映画祭の開催
- 音楽イベントの開催
- 現代アート制作・展示
- 歴史建築物の活用・紹介
- 青少年育成支援
- 子供の情操教育 等

審査委員会

各分野の専門家による審査で助成先を決定!

助成事業

将来性のある個人・団体でこのまちの魅力を高める可能性がある活動に助成!

しましまときどき「縞縞のシマウマ」「時時ヨコシマなカバ」の販売



ボランティアグループ“シマウマ組”から小倉織の端切れを使い、手作りで製作している「ぬいぐるみ」の売上15万5千円の寄付をいただきました。

この「ぬいぐるみ」は、“小倉縞縞 本店”で販売しています。また、“北州市のふるさと納税返礼品”に選定されています。



特定寄付募集事業

北九州青年会議所「積木の箱」様、大分製紙(株)様からご寄付をいただきました。

(C) 特定寄付金合計:4,122万4千円

北九州JC「積木の箱」様からのご寄付

令和3年4月19日(月)に(一社)北九州青年会議所の公益信託北九州青少年健全育成基金「積木の箱」様から4,102万4千円のご寄付をいただきました。



大分製紙(株)様からのご寄付

令和2年11月17日(火)に「北九州紙・えこっパー」の製造・販売を行っている大分製紙(株)様より20万円のご寄付をいただきました。



助成事業

令和2年7月～8月に助成事業の一般公募を行い、応募件数7件の中から「1000人の夢寄金」審査委員会による審査を経て、第9回助成事業5件、助成金額合計150万円を決定しました。
また、審査にあたっては、インターネットによるWeb投票も実施しました。

第9回助成団体の事業概要（事業期間：令和2年10月1日から令和3年9月30日）

助成事業名	助成先	事業概略
クラシック音楽と演劇のコラボレーション公演 “それはモーツアルトだった”	北九州ミュージックシアターみらい 理事長 森岡 謙一	普段、接する機会が少なく、敷居も高く感じられがちな「舞台芸術」を、子どもたちに「劇場」で「生の舞台」でしか味わえない楽しさ、感動に触れ、肌で感じてもらうことで、音楽と演劇、芸術の知識を学びつつ、「心と情愛」の発育を目指す劇場公演。
全ての子ども達に豊かな自然とくらしとまなびを届けるプロジェクト “北九州の今を描こう あらわそう伝えよう2020”	NPO法人 あそびとまなび研究所 理事長 秋葉 祐三子	北九州のグリーンフロンティア計画にふさわしい、「子ども主体・住民主体」の「みんなが住みつけたいまち」を子ども達の日常において、自然や事柄を丁寧に観察し、子ども達自身が表現するプロジェクト。地域の自然との触れ合い、観察、散策活動とそれに伴う水彩画他の表現活動、子どもの自然の中での群れ遊びの機会創り、子ども達の表現の発表を通じた北九州市の豊かな自然の再発見などを行う。
虐待予防プログラム 「ポジティブ・ディシプリン」 “ファシリテーター養成講座”	NPO法人GGP (ジェンダー・地球市民企画) 代表理事 岩丸 明江	子どもへの虐待による痛ましい事象が後を絶たない昨今。北九州市で養育者が困った時、悩んだ時に一緒に考えあえる有効な親育ちプログラム「ポジティブディシプリン」を進行するファシリテーター(進行役)を育成し、多面的な虐待予防の取り組みと、市民の虐待予防への意識の向上を図る事業。受講終了者は、プログラムファシリテーター(PF)として認定され、市内で活動していくようにPFリストに登録される。
生き方のデザイン授業の “新学習教材の開発”	(一社)生き方のデザイン研究所 代表理事 遠山 昌子	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、対面での「生き方のデザイン授業」が難しくなっており、また、教育現場ではオンライン対応が非常に遅れている。このような状況下でも、これからも「生き方のデザイン授業」を学校に届けるために、オンラインを活用した授業や事前学習のための「新しい学習教材の開発」を行い、継続して授業を行っていく環境を整備する。
プレゼント配布イベント& チャリティー吹奏楽コンサート “第22回 ヤングサンタ”	(一社)北九州青年経営者会議 ヤングサンタ実行委員会 代表 堀 一	病気と闘っていたり、家庭の事情で家族とクリスマスを過ごすことのできない子どもたちに、クリスマスプレゼントを届けるヤングサンタ(プレゼント配布イベント)とヤングサンタのためのチャリティー吹奏楽コンサート。これまでに5,500名を超える子どもたちにプレゼントを届けている。

助成の詳細、過去の実績は「1000人の夢寄金ホームページ」(<https://www.kpec.or.jp/yume/>)をご覧ください。

“それはモーツアルトだった”開催!



令和3年1月17日(日) ウエル戸畠にてクラシック音楽と演劇のコラボレーション公演『それはモーツアルトだった』の公演が開催されました。

「音楽」と「演劇」と「ダンス」がコラボレーションされた演出は来場者の皆さんに大好評で、多くの子どもたちに文化芸術に対する興味を抱かせる公演でした。



北九州の企業人が明日を担う子どもたちを応援します!

北九州の企業人による小学校応援団



次世代を担う子どもたちの健全な育成を図るうえで、人間形成の基礎がつくられる小学校の時代は非常に重要な時期です。子どもたちが小学校の時期を大切に過ごすことができるようにするためには、保護者(PTA)や教職員だけでなく、地域社会をあげて、みんなで心を一つにして支えあう環境づくりが必要です。このため、『北九州の企業人による小学校応援団』は“地元企業が志を持って結束し、小学校を支援すること”を目的として発足しました。

出前授業・研修

『小学校応援団』では、協力企業等の協力を得て、「児童への出前授業」、「教職員・保護者(PTA)向けの出前授業・研修」を実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施回数が大幅に減少しましたが、リモート授業やオリジナル教材や動画の配布等、コロナ禍に対応した非対面での新しい試みも実施しました。

令和2年度実績

- ◇ 支援対象校 : 129校(北九州市内の市立全小学校)
- ◇ 登録テーマ数 : 140テーマ(令和元年度 133テーマ)
- ◇ 実施件数 : 29校 71件(令和元年度 235件)
- ◇ 協力企業数 : 465社(令和元年度 459社)

出前授業を実施した小学校からの感想(抜粋)

理科 バーチャルプラネタリウムの世界 ～学校で星の授業をしよう～

(一社)科学舎アカデミー

抽象的な思考が苦手な児童には、大きな画面で実際の星空のように観察することができたので、理解がしやすかった。

(児童の感想)

学芸員の先生に上手にお話していくだけでも多くのことに興味・関心を持つことができた。



環境 人々の健康や地球環境を考える 小学生石けん教室

シャボン玉石けん(株)

実験が面白く、児童が興味を持つて見ていた。

(児童の感想)

- ・石けんのかすが、魚のえさになるくらいの環境に良いことにびっくりした。
- ・コロナが流行っているので、教えてもらった手洗いの歌で手を洗いたい。



情報 インターネットを使った情報の集め方と 情報の正しさ

ヤフー(株)

- ・ZOOMによる遠隔授業を行ったが児童は興味深く学習に取組んだ。
- ・タブレット端末を使用して学習を行い、インターネットの正しい使い方や検索方法を学ぶことができた。
- ・学習後も学んだことを生かしてタブレット端末を使った学習を進めることができた。



音楽 音楽を楽しみ、音楽を通してつながろう!

(株)大内義昭ミュージックアソシエイト

子どもの様子を見ながら活動の難易度・組立てを工夫してくださったので良かった。

(児童の感想)

- ・今まで、やったことのない動きや遊びができるで楽しかった。
- ・“音っていいな”と思った。
- ・“音っていろいろあるのだな”と思った。



令和2年度の活動実績の詳細は「小学校応援団ホームページ」(<https://ouendan.gr.jp/>)をご覧ください。

環境を未来に引き継ぐ!

もったいない総研

『もったいない総研』は、北九州市の様々な“価値あるモノ”をシビックプライドのコンテンツとして、その継承と活用を推進していきます。その活動として、SDGs未来都市を目指す北九州市のエコマインドの普及・啓蒙のツールとしての「北九州紙・えこっパー」の普及拡大と北九州市の近現代建築物の保存・継承の研究に取り組んでいます。

“北九州紙 えこっパー”の普及拡大



「北九州紙・えこっパー」は北九州市内で回収した牛乳パック・古紙等を原料とした古紙100%のリサイクルトイレットペーパーです。ゴミの減量、森林資源の保全を通じて、SDGs達成に貢献します！



令和2年度 えこっパー販売実績

- ◇令和2年度販売数: 150,152パック
(前年比▲40,632パック)
- ◇累計販売数: 3,677,168パック
(平成13年度～令和2年度)



大分製紙(株)様からの寄付



令和2年11月17日(火)に「えこっパー」を製造・販売している大分製紙(株)様より『1000人の夢寄金』へ売上的一部分20万円のご寄付をいただきました。

旧百三十銀行ギャラリーの指定管理事業

地元遺産の認知・保存活動の推進と近現代建築物のファシリティーマネジメントの企画・研究を目的に、KPECと「NPO法人北九州市の文化財を守る会」とで旧百三十銀行ギャラリー管理運営共同事業体を編成し、北九州市立旧百三十銀行ギャラリーの指定管理事業を行っています。

北九州市立旧百三十銀行ギャラリーの概要

- ◇開館時間 10時～18時
- ◇休館日 12月29日～1月3日
- ◇住所 北九州市八幡東区西本町1-20-2
- ◇アクセス JR／八幡駅下車 徒歩10分
西鉄バス／尾倉町下車 徒歩10分
- ◇連絡先 TEL : 093-661-9130 FAX : 093-661-9133
E-mail : info@130gallery.jp
<http://www.130gallery.jp>

旧百三十銀行ギャラリー

× 検索



北九州イノベーションギャラリー 指定管理終了のお知らせ



KPECが、平成2年の「産業科学博物館基本構想」の策定から開館準備に至るまで設立に携わり、平成19年の開館当初から指定管理を受託し管理してまいりました北九州イノベーションギャラリー（北九州産業技術保存継承センター）が令和3年3月をもって休館し、KPECの指定管理が終了しました。

北九州イノベーションギャラリーでは、官営八幡製鐵所の世界文化遺産登録の紹介とあわせて、当地固有の歴史的風土と、

ここに蓄積してきた「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用しながら、企画展の開催やセミナー・工作教室・見学ツアー・連携イベントの開催、イノベーション・産業技術・デザインに関する研究など様々な事業を実施し、新たなイノベーションへ繋がる機会創出を図ってまいりました。

これまでの14年間にわたるご利用・ご支援に対しまして、厚く御礼申しあげます。

<総利用者数> (平成19年4月～令和3年3月)	
◇利用者数	912,724名
◇企画展観覧者数	300,249名
◇教育プログラム参加者数	197,210名

改修工事終了後は、令和4年春頃に新科学館の一部として開館予定です。

[休館中のお問合せ先]

北九州市子ども家庭局青少年課 093-582-2392

北九州青年会議所 「積木の箱」からのご寄付について

(一社) 北九州青年会議所の公益信託北九州市青少年健全育成基金「積木の箱」は昭和59年に設立され、35年間という長期間にわたり、青少年の非行防止を中心とした青少年健全育成活動に対して数々の助成を行い、北九州市の青少年の健全育成に貢献されてきました。近年、青少年非行の減少に伴い助成先が

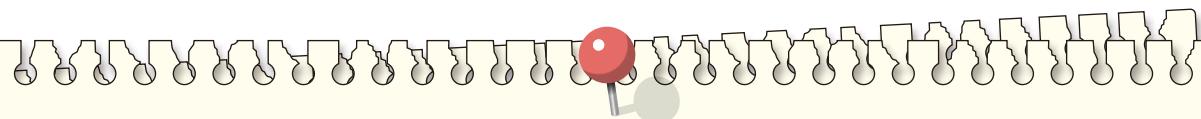
減少したことなどにより、「積木の箱」は、その役割を終え、令和3年3月に「積木の箱」が終了いたしました。その「積木の箱」の終了にともなう残余財産の譲渡先として、北九州市の都市格を高める教育・文化活動に対して助成を行っている(公財)北九州活性化協議会「1000人の夢寄金」を選んで

いただき、令和3年4月19日に4,102万4千円の寄付をいただきました。

公益信託北九州市青少年健全育成基金
積木の箱
つみきのはこ



今回、「積木の箱」から贈与いただきました寄付金につきましては、「積木の箱」の趣旨・目的、そして「積木の箱」へご寄付いただいた方々の想いをしっかりと引き継ぎながら、「1000人の夢寄金」の青少年育成分野への助成で活用させていただきます。



インターンシップ受入企業を募集しています!

«インターンシップ受入対象企業»

北九州地域の企業・団体等

«インターンシップの対象となる大学»

- ◇九州工業大学(全学部・専攻)
- ◇北九州市立大学(国際環境工学部、研究科)
- ◇産業医科大学(産業保健学部環境マネジメント学科)
- ◇北九州工業高等専門学校(全学科・専攻科)
- ◇早稲田大学大学院情報生産システム研究科

«実習時期»

- ◇研修型(短期) : 概ね8月中旬～9月下旬 学校の夏期休暇中
- ◇実践型(長期) : 概ね8月中旬～ ※学生と調整のうえ決定

«実習期間»

- ◇研修型(短期) : 1週間～2週間 ※最低実施日数5日間 [単位認定のため]
- ◇実践型(長期) : 約3ヶ月～6ヶ月

«実習形態»

- ◇研修型(短期) : 無給
- ◇実践型(長期) : ステップ① 数日間～1か月程度の研修(無給)
ステップ② 約2か月から5か月程度の実務(有給)

«問い合わせ先»

北九州地域産業人材育成フォーラム事務局 TEL:093-541-3122 FAX:093-541-0636
E-Mail:info-jinzai@kpec.or.jp
ホームページ <https://www.kpec.or.jp/jinzai/>



「1000人の夢寄金」へのご寄付を募集しています!

«ご寄付の種類»

①基本ご寄付(1年に一度)

- ◇個人・団体 : 1□ 3,000円 ◇法人 : 1□ 10,000円

②ご遺贈などのご寄付

「遺贈」「香典返しに代えて」など、故人のご意思やご家族の思いをご寄付と共に頂戴しております。

«お問い合わせ先»

1000人の夢寄金 事務局

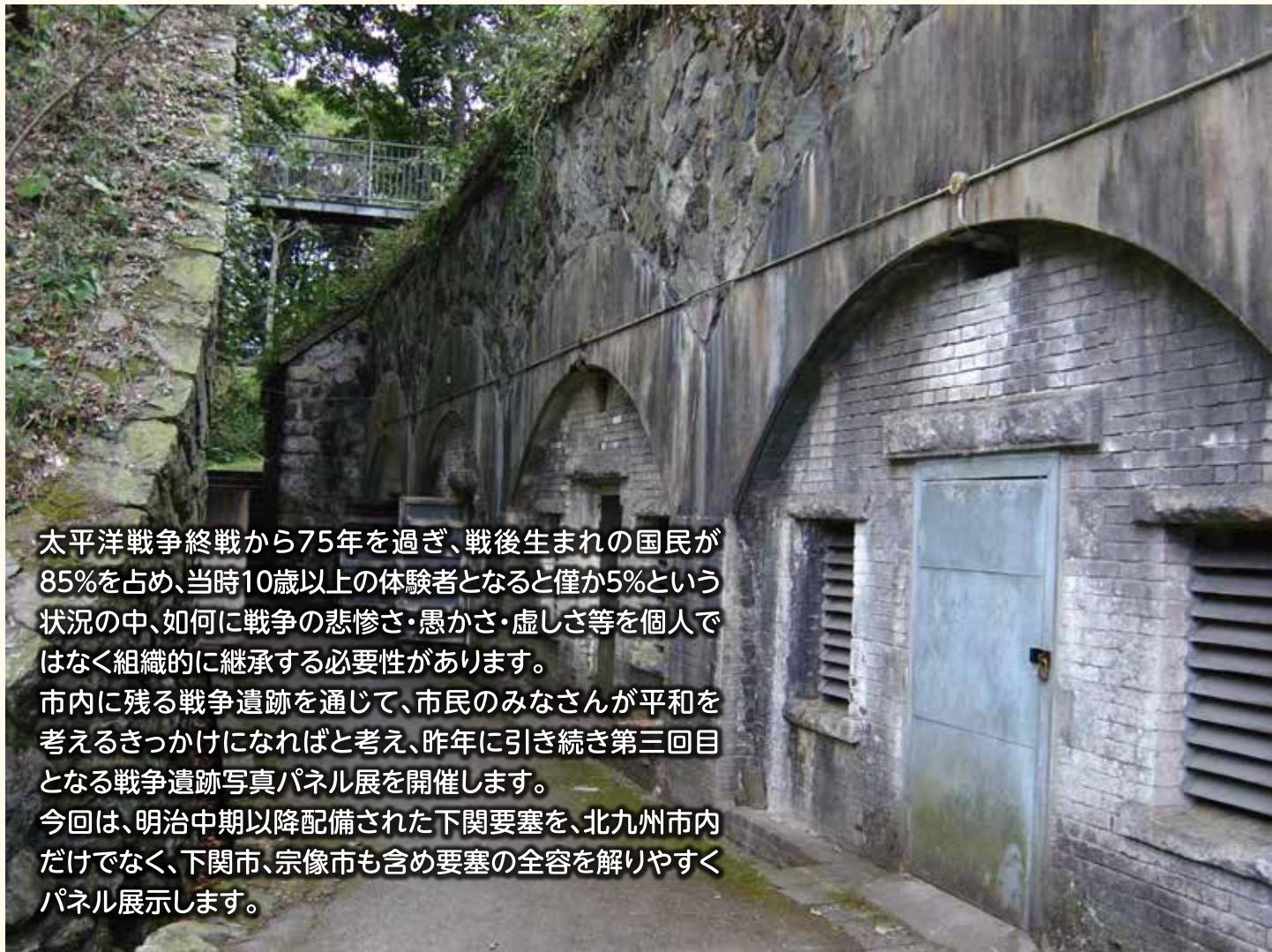
TEL : 093-541-3122 FAX : 093-541-0636

E-Mail : yume@kpec.or.jp

ホームページ <https://www.kpec.or.jp/yume/>

「1000人の夢寄金ホームページ」から寄付の申込が可能です。

第三回 北九州市の戦争遺跡 「下関要塞」写真パネル展



矢筈山堡壘の倉庫群 明治期(門司区大字大里)



富野堡壘の倉庫群
明治期(小倉北区常盤町)



手向山砲台の探照灯座
明治期(小倉北区赤坂)



笹尾砲台の井戸
明治期(門司区大字大里)



古城山堡壘の倉庫
明治期(門司区和布刈)

開催期間：令和3年8月7日(土)～8月15日(日)

開館時間：午前10時～午後5時

会場：北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

北九州市八幡東区西本町1-20-2 電話 093-661-9130

ホームページ <http://www.130gallery.jp/index.html>

入場料：無料

(注)下関要塞(しものせきようさい)は、関門海峡周辺に設置された旧陸軍の要塞です。